

令和2年度

観光文化スポーツ部運営プログラム

評価票

令和3年7月
観光文化スポーツ部

令和2年度 観光文化スポーツ部施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

【 】：第4次山形県総合発展計画実施計画の施策番号

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

- (1) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】
 - ① 県民や地域に活力をもたらす多様な学びの促進

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化【3】

- (2) 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化【3-3】
 - ② 観光地域づくりの推進
 - ③ 戦略的な誘客促進
 - ④ 地域の特性や魅力を活かした多様な交流の促進

3 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

- (3) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】
 - ⑤ 国際ネットワークの形成促進
 - ⑥ 国内広域交通ネットワークの充実強化
- (4) 地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり【5-3】
 - ⑦ 自然環境や文化資産の保全・活用・継承
- (5) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】
 - ⑧ 県を越えた交流連携の推進

令和2年度 観光文化スポーツ部 主要事業実施状況

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

(1) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】



取組みの成果

① 県民や地域に活力をもたらす多様な学びの促進

K P I	県立文化施設等の来館者数					
	基準値（平成29年度）： 870,200人					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	—※	100万人	100万人	100万人	100万人
	実績値	58.3万人				
進捗状況	その他（新型コロナウイルスの影響で指標値を設定せず）					

※新型コロナウイルス感染拡大防止に係る公演・企画展等の中止や入館者数制限等により、令和2年度の動向について見通すことが困難であったため。

【令和2年度における評価と見直しの方向性】

<文化芸術・スポーツ等に触れる機会の充実>

(評価)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、県立文化施設をはじめ、県内の美術館・博物館などの文化施設・団体は、臨時休館や文化事業の中止・延期等による来館者数の激減など大きな影響を受けたことから、国の臨時交付金などを活用し、文化芸術に関わる新型コロナ対策事業として、県民向けに対象施設の入館料等を割引く「やまがたの文化応援キャンペーン」事業を実施し、文化施設の利用回復を図った。
- ・ 文化施設の取組みを支援するため、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、プロスポーツと共同で「やまがたプロスポーツ・文化施設応援プロジェクト」を実施。全国から250万円を超える寄附をいただき、文化施設の感染症対策を支援した。
- ・ 山形県生涯学習文化財団と連携し、美術館・博物館が実施する企画展への支援及び県民に優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供する文化施設・団体への支援等を実施し、感染対策を十分に取しながら、県民に優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供した。
- ・ 幼少期から文化に親しむ機会を創出する「文化による地域への愛着・誇り醸成事業」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により全て中止となった。
- ・ 県立博物館では、新型コロナウイルス感染症の拡大により、5月中旬までの臨時休館や企画展の一部延期等の影響があったが、感染防止対策を講じながら来館者ニーズを踏まえた代替事業や「縄文の女神」展示解説会をはじめとする各種イベント・講座を通し、本県の自然・歴史・文化の魅力を紹介するとともに学習の機会を提供することができた。また、高校生を対象とする「学芸員一日体験講座」の開催や、職員が小学校に出向く「出張博物館」など学校教育と連携した取組みを実施した。

(見直しの方向性)
 ⇒ 美術館・博物館・文化施設・文化芸術団体への支援を通じて、引き続き県民に優れた文化芸術の鑑賞機会を提供していく。
 ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響で触れる機会が減っている幼少期からの地域文化や伝統芸能の体験事業を引き続き実施する。市町村の協力を得ながら今後の事業検討を行う。
 ⇒ 博物館では、引き続き感染防止対策を講じながら、生涯学習の拠点として時機を捉えたテーマの設定や来館者ニーズを踏まえた魅力ある企画・展示を行っていく必要がある。

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連するSDGsの ゴール
飲食店・小売店・生活関連等消費応援事業費の一部(産業労働部予算)	126,743 (137,517)	・県民の県内での消費活動を喚起し、地域経済の回復につなげるため、文化施設等の入館料等を250円割引くキャンペーン事業を実施(36施設・団体の参加)	4
山形県文化芸術交流発信事業費	9,847 (16,511)	・県と文化団体との共催による地域のホール等を活用した文化芸術鑑賞機会の提供(文化芸術鑑賞機会6事業を実施)	4
文化団体等連携支援事業費	100,845 (102,617)	・美術館等が実施する企画展や山形交響楽団の活動への支援(美術館等の企画展等29事業への支援、山響の主催公演21事業等への支援を実施)	4
計	237,435 (256,645)		

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化【3】

(2) 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化【3-3】



目標指標	観光消費額
	基準値(平成30年度)：2,177億円 直近値(令和元年度)：2,235億円 (前年値 2,177億円) 目標値(令和6年度)：2,600億円 (前年比+58億円)
	進捗状況 その他(R2の数値が未集計)

取組みの成果

② 観光地域づくりの推進

K P I	観光者数					
	基準値（平成 30 年度）： 46,507 千人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—※	48,200 千人	48,800 千人	49,400 千人	50,000 千人
	実績値	45,312 千人 (R 1 年度)				
	進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）				
	平均宿泊数					
	基準値（平成 30 年度）： 1.32 泊（全国平均： 1.33 泊）					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—※	全国平均 以上	全国平均 以上	全国平均 以上	全国平均 以上
実績値	1.32 泊 (全国 1.33 泊)					
進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）					

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う観光イベントの中止や県域を越える移動の制限など、令和 2 年度の動向について見通すことが困難であったため。

【令和 2 年度における評価と見直しの方向性】

<質の高いツーリズムの推進>

(評価)

- ・ 探求型学習や SDGs に対応した教育旅行メニューを掲載したパンフレットを新たに 1 万部作成した。
- ・ 新潟県・庄内エリアポストデスティネーションキャンペーン（以下、「新潟県・庄内エリアポスト DC」という。）や東北デスティネーションキャンペーン（以下、「東北 DC」という。）に向けた「山形ならではの」地域資源を活かした質の高い体験や価値を提供するコンテンツの発掘・磨き上げを行った。

(見直しの方向性)

- ・ 教育旅行の誘致拡大
 - ⇒ コロナ禍において学校が近県や感染状況が比較的落ち着いている地域へ旅行先を変更している現状を踏まえ、作成した教育旅行パンフレットを活用し、これまで本県での教育旅行の実績があまりなかった地域を含めたセールス活動を行う。
- ・ 地域資源を活かした各種ツアーの造成に向けた旅行会社等への働きかけ強化
 - ⇒ 引き続き、本県の地域資源や四季折々の魅力、観光客に訴求力のあるテーマを活用した観光キャンペーン等を実施するとともに、近隣県や観光関係者等と連携した効果的なプロモーションを展開していく。

<四季のリゾート“世界の蔵王”としての確立>

(評価)

- ・ 比較的近い位置関係にある蔵王温泉とかみのやま温泉の泉質の違いを蔵王地域特有の観光資源と捉え、美食・美酒などの地域の食文化や地域ならではの体験コンテンツによる体験プログラムを構築し、映像や SNS を活用したプロモーションを展開。また、観光ニーズの多様化に伴い、泊食分離に関する、蔵王温泉内で夜間コンテンツの実証実験を通じたニーズ調査を行った。加えて、SDGs に対応した観光地をつくるため、専門家の講演や先進地の事例紹介等を通し、蔵王地域における意識を醸成するセミナー等を行った。さらに、蔵王エコラインを蔵王地域の観光資源と捉え、旅行情報誌等を活用し沿線の観光情報と併せた情報発信を行った。

(見直しの方向性)

- ⇒ 年間を通して国内外から多くの観光客で賑わう「四季のリゾート“世界の蔵王”」の確立に向けた「世界の蔵王」プロジェクト事業の継続した取組みの展開

<観光地域としての受入環境の整備>

(評価)

- ・ 子ども、高齢者、障がい者及び外国人等、誰もが安心して活動できる出かけやすい県づくりを進めるため、不特定多数の人が利用する観光施設トイレのバリアフリー化工事の支援や新しい生活様式を取り入れた接客についての研修会を実施した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により落ち込んだ観光需要の回復による県内経済の活性化を目的として、県内の観光立寄施設や宿泊施設で利用できる割引クーポンの発行や県内貸切バス・タクシー等を活用した旅行商品への助成を行った。
- ・ 新潟県・庄内エリアポスト DC による誘客効果を内陸へ波及するため、内陸と庄内を結ぶ予約制観光バスの運行や情報発信の支援など、二次交通の充実を図った。

(見直しの方向性)

- ・ 全ての観光客が旅行を安全・快適に楽しむことができる環境整備支援
 - ⇒ 少子高齢化や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、高齢者や障がい者等の旅行機会の拡大を目的としたバリアフリー観光につなげるため、引き続き観光施設トイレを的確に把握・選定し、効果的な整備を進めていく。
 - ⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大や Go To トラベル事業の一時停止等の影響により、県内宿泊施設の宿泊数は落ち込みが続いている。引き続き、Go To トラベル事業の動向等を注視しながら、各割引クーポン・助成等を行うことで観光需要の回復を図っていく。
 - ⇒ 東北 DC の開催にあたり、受入企画や誘客活動に対する支援と併せて、二次交通に対する支援を実施する。

<広域的な交通ネットワークの利便性向上と広域観光周遊ルートの形成>

(評価)

- ・ 外国人専用鉄道パスを活用した首都圏（成田・羽田空港）から本県への旅行商品造成のため、官民一体でメディア招聘や情報発信を行ってきたが、渡航制限により旅行商品が造成されていない状況にある。

(見直しの方向性)

- ⇒ 海外との往来再開後を見据え、官民一体で外国人専用鉄道パスを活用した本県への安全・安心な旅の情報と新しい山形の過ごし方を提案し、首都圏（羽田・成田空港）から本県への直接的な誘客を図る必要がある。

<観光地域づくりの担い手の育成>

(評価)

- ・ 地域 DMO に旅行マーケットに精通した商品企画・流通などの専門家を派遣し、着地型旅行商品づくりの実践を通して助言指導等を行い、売れる商品を生み出すスキルやノウハウを習得させることにより DMO の育成を図った。

- ・ 「山形おもてなしドライバー検定」(受講者 21 名) 及び「山形観光アカデミー」(3 講座、受講者 114 名) による研修を実施し、観光関係事業者のおもてなし力向上を図った。

(見直しの方向性)

- ・ DMO 育成・形成支援

⇒ DMO に関する情報・支援の不足、DMO 同士の連携不足、売れる着地型旅行商品の造成及び販売力の強化に課題があるため、県内 DMO に対するヒアリング等を行い、ニーズに合った必要な支援を行うとともに、事業を通してさらなる DMO の形成を促す。

- ・ おもてなし力向上

⇒ コロナ禍においては対面での研修が難しい状況であることから、オンラインでの研修の実施や危機管理に関する講座の実施について検討を行う。

【令和 2 年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGs の ゴール
観光連携推進事業費	79,562 (80,521)	・(公社)山形県観光物産協会が実施する本県の観光振興を図るための事業に対する助成	8
教育旅行推進事業費	13,488 (15,551)	・貸切バスへの助成(助成件数 29 件)、受入態勢の整備等による誘致活動の実施等	8
地域広域観光推進事業費	11,189 (11,250)	・仙台圏向けの紅花キャンペーンの実施と紅花文化に関する情報の発信、最上地域の隣接圏と連携した東北のへそオンラインショッピング、置賜地域における伊達四十八館など地域が主体となった観光素材の発掘・磨き上げ、庄内地域の美食・美酒、精神文化などの一体的な旅行商品造成への支援などを実施	8
「世界の蔵王」プロジェクト推進事業費	12,086 (13,015)	・年間を通じて国内外からの多くの観光客で賑わう「四季のリゾート“世界の蔵王”」の確立に向けた「世界の蔵王」プロジェクト事業において、蔵王地域の魅力を訴求する情報発信などのプロモーションを展開	8
出羽百観音プロジェクト推進事業費	316 (450)	・本県が誇る精神文化「出羽百観音」の観光資源としての活用等について検討するプロジェクトチーム会議の設置	8
東北 DC 事業費	60,600 (60,600)	・東北 DC の開催に向けた取組みの推進に係る東北 DC 推進協議会への山形県負担金	8
バリアフリー観光推進事業費	1,000 (1,000)	・観光地の公衆トイレのバリアフリー化に対する支援(実績：1 件)	8
東北観光復興対策プロモーション強化事業費	130,706 (159,063)	・Web 商談会(令和 3 年 3 月開催)や、一般消費者向けにデジタルとリアルを組み合わせた複数メディアによる本県の情報の発信など、県内民間事業者と協働した海外有力市場を対象とした総合的誘客プロモーションの実施	8

		・外国人専用鉄道パスを活用した酒蔵ツーリズム商品の造成のため令和2年12月に一般消費者モニターを実施	
地域 DM0 育成事業費	900 (900)	・着地型旅行商品の造成等のため、スーパーバイザーの派遣による地域 DM0 の育成支援（実績：1件）	8
新潟・庄内 DC 誘客推進事業費	7,416 (8,410)	・新潟県・庄内エリアポスト DC の効果を県内全域に波及させるため、内陸と庄内を結ぶ二次交通整備に係る情報発信支援	8
東北観光復興対策滞在強化事業費	36,548 (46,882)	・欧米豪等を対象に、出羽三山での山伏体験などの精神文化ツーリズムに係るメディア・インフルエンサー招請を令和2年11月に実施 ・空港・駅等からのレンタカー・バス等の利用環境の改善による利便性向上や旅ナカでの情報提供機能の拡充に係るプラットフォームの更新	8
東北観光復興対策受入環境整備事業費	17,925 (20,750)	・宿泊施設、観光施設等の看板（デジタルサインージを含む）や自社サイトの多言語化、Wi-Fi環境整備、キャッシュレス決済の導入、トイレの洋式化、翻訳機の導入など、民間事業者が取り組む外国人観光客の受入環境の整備に対する支援（支援対象事業者：35事業者）	8
観光誘客緊急対策事業費 （4月補正）	307,331 (368,000)	・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、県民が県内の観光立寄施設や宿泊施設で利用できる割引クーポンを発行し、県民による県内経済の活性化を喚起	8
観光誘客緊急対策事業費 （6月補正）	784,317 (1,092,790)	・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、県内宿泊施設で利用できる割引クーポンの発行と県内貸切バス・タクシーを活用した旅行商品の販売促進により県内経済の更なる活性化を喚起	8
新 OMOTENASHI 研修事業費	5,000 (5,000)	・観光業界において「新しい生活様式」を取り入れた接客スキルを向上させるため、宿泊、タクシー等の県内観光事業者対象としたオンライン研修動画の制作・発信（1本50分、計10本）による研修支援（総視聴回数601回）	8
計	1,468,384 (1,884,182)		

③戦略的な誘客促進

K P I	県観光情報ポータルサイトのアクセス件数					
	基準値（平成30年度）：229万件					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	240万件	280万件	310万件	330万件	350万件
	実績値	162万件				
進捗状況	策定時を下回る					

K P I	外国人旅行者受入数					
		基準値（平成 30 年）：252, 289 人				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—※	390, 000 人	450, 000 人	520, 000 人	600, 000 人
	実績値	125, 430 人 (速報値)				
	進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）				
	延べ外国人旅行者宿泊者数					
		基準値（平成 30 年）：163, 460 人泊				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—※	255, 000 人泊	295, 000 人泊	345, 000 人泊	400, 000 人泊
実績値	87, 440 人泊					
進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）					

※新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る入国制限が行われており、令和 2 年度の動向について見通すことが困難であったため。

【令和 2 年度における評価と見直しの方向性】

< 情報発信の強化 >

(評価)

- ・ 近県 3 県を対象に本県の四季の魅力を伝えるテレビ CM を制作・放送する重点テーマ PR 事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、事業内容を見直し、「山形の魅力再発見」誘客促進事業として、本県及び近県向けに本県の魅力の再発見につながるテレビ CM の制作及び放送を行った。
- ・ コロナ禍の中、市場規模が大きい首都圏において、本県への来訪が見込まれるターゲット層に対し、テレビ媒体を活用した情報発信を行うため、「やまがた発！旅の見聞録」を制作・放送した。
- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」を全面刷新し、スマートフォン対応に加え、英語、繁体字、簡体字、韓国語、タイ語の 5 言語に対応するとともに、宿泊の予約まで完結できるよう改修を行った。

(見直しの方向性)

- ・ 多様な手法による観光情報発信強化
 - ⇒ テレビ CM よりも WEB 広告の方が特定のターゲットに効率よく情報発信ができること、第 2 次おもてなし山形県観光計画にてデジタルマーケティングをリーディングプロジェクトに設定していること等から、インターネットにおける観光 PR を重点的に行うこととし、令和 2 年度で重点テーマ PR 事業は廃止した。
 - ⇒ 全面刷新した県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」について、知名度・認知度を向上させ、利用を促進させる必要がある。

< 「観光デジタルマーケティング」の推進 >

(評価)

- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」の全面刷新により、アクセスデータを基に各市場におけるターゲットや興味・関心の高いコンテンツなどの分析（デジタルマーケティング）が可能となった。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内市町村及び市町村観光協会等の観光関係団体を対象にアクセスデータ分析に係る研修を実施し、マーケティング及びデータ分析能力向上を図った。 <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データの収集・分析と戦略的観光施策の展開 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」のアクセスデータを分析し、興味関心の高いコンテンツ造成に取り組み、アクセス数の向上を図る。 ⇒ 継続的にデータ分析、マーケティング研修を実施し、県内観光団体の能力向上を図る。 ⇒ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」のアクセスデータから得られた分析結果を基に施策展開することが必要である。 <p><インバウンドの推進></p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接県と連携し仙台国際空港を活用した OTA（オンライン・トラベル・エージェント：インターネット上だけで取引を行う旅行会社）向けの情報提供を行ったが、渡航制限により旅行商品が造成されない状況にある。 ・ 外国人専用鉄道パスを活用し首都圏（成田・羽田空港）から本県への旅行商品造成のため、官民一体でメディア招聘や情報発信を行ってきたが、渡航制限により旅行商品が造成されていない状況にある。（再掲） ・ 外航クルーズ船の運航再開に向けた国の動向を注視しつつ、オンラインを活用した誘致活動を実施した。 <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ インバウンドの段階的な回復に向け、隣接県と連携し仙台国際空港や関係機関等から情報収集を行い、タイミングを逃さずに FIT（ツアーや団体旅行ではなく個人で海外旅行を行う客）層の山形への誘客を図る必要がある。 ⇒ 海外との往来再開後を見据え、官民一体で外国人専用鉄道パスを活用した本県への安全・安心な旅の情報と新しい山形の過ごし方を提案し、首都圏（羽田・成田空港）から本県への直接的な誘客を図る必要がある。（再掲） ⇒ 外航クルーズ船の運航再開に向けた国の動向を注視しつつ、引き続きオンラインを活用した誘致活動を継続する必要がある。

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
観光誘客緊急対策 事業費 (6月補正(追加))	15,000 (15,000)	・ 本県及び近県を対象とした本県の魅力の再発見につながるテレビCMの制作及び放送	8
観光デジタルマーケティング推進事業費	35,788 (36,224)	・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」を全面刷新（令和2年12月に日本語サイト、令和3年2月に多言語サイトを公開）し、令和3年3月にはデータ分析結果を活用した市町村や市町村観光協会向けのセミナー（令和3年3月18日開催 43人参加）を開催	8
観光情報番組放映事業費	31,014 (31,102)	・ 首都圏からの観光誘客を図るための観光情報番組の制作及び放映	8
観光キャンペーン推進事業費	29,160 (29,160)	・ 官民一体となった誘客推進のための「やまがた観光キャンペーン推進協議会」への負担金	8

やまがた的グリーン・ツーリズム推進事業費	9,150 (9,440)	・「やまがた的グリーン・ツーリズム」HP やグリーン・ツーリズム NEWS（年2回、各20,000部発行）により、旬のグリーン・ツーリズム情報を首都圏や近県に向けて発信	8
雪を活用した観光誘客支援事業費	6,414 (7,093)	・「やまがた雪フェスティバル」の開催準備等への支援（新型コロナウイルス感染症の影響でイベント自体は中止）	8
観光誘客総合推進事業費	32,569 (32,569)	・山形県 DC 推進監「きてけろくん」や「やまがた愛の武将隊」などを活用した情報発信による観光 PR 等	8
東北 DC 事業費（再掲）	60,600 (60,600)	・東北 DC の開催に向けた取組みの推進に係る東北 DC 推進協議会への山形県負担金	8
広域連携推進事業費	19,390 (19,390)	・東北観光推進機構等と連携した海外現地旅行会社・メディア等向け Web セミナーの開催や、在日外国人インフルエンサー等招聘、商談会、オンライン旅行博の出展など、海外誘客事業の実施	8
東北観光復興対策プロモーション強化事業費（再掲）	130,706 (159,063)	・Web 商談会（令和3年3月開催）や、一般消費者向けにデジタルとリアルを組み合わせた複数メディアによる本県の情報の発信など、県内民間事業者と協働した海外有力市場を対象とした総合的誘客プロモーションの実施 ・外国人専用鉄道パスを活用した酒蔵ツーリズム商品の造成のため令和2年12月に一般消費者モニターを実施	8
東アジア誘客推進事業費	14,502 (15,423)	・台湾、香港、中国及び韓国における観光情報の発信、山形県観光コーディネーターによる現地情報の収集	8
東南アジア誘客推進事業費	1,451 (1,451)	・タイ向けに特集ページをウェブ上に作成し、アドバイザーの意見に基づき観光素材の発掘・磨き上げを実施（令和2年10月～令和3年3月）	8
東北観光復興対策滞在強化事業費（再掲）	36,548 (46,882)	・欧米豪等を対象に、出羽三山での山伏体験などの精神文化ツーリズムに係るメディア・インフルエンサー招請を令和2年11月に実施 ・空港・駅等からのレンタカー・バス等の利用環境の改善による利便性向上や旅ナカでの情報提供機能の拡充に係るプラットフォーム更新	8
外航クルーズ船誘客事業費	1,083 (1,200)	・官民一体となった「“プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会」による外国船社とのオンライン商談会を令和2年10月に実施するとともに、クルーズ船誘致用デジタルコンテンツを作成し令和3年3月から公開	8
計	423,375 (464,597)		

④地域の特性や魅力を活かした多様な交流の促進

K P I	県内への文化・スポーツ合宿の新規誘致数					
	基準値（令和元年度）：3団体					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—※	3団体	3団体	3団体	3団体
	実績値	1団体				
進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）					

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う県域を越えた移動の制限や合宿の自粛などにより、令和2年度の動向について見通すことが困難であったため。

【令和2年度における評価と見直しの方向性】

＜文化芸術活動・スポーツを通じた交流の促進＞

（評価）

- ・ 県外に本県の文化を発信するため、山形交響楽団が行うインターネットでのライブ配信演奏会において、本県の観光地や県産品・文化施設等をPRする動画を制作・配信する取組みに対して支援した。
- ・ 総合文化芸術館については、令和2年5月13日の開館以降、著名アーティストや一流の文化芸術の公演を行える施設であるという施設の評価を確立し、本県の豊かさ・魅力の更なる発信、交流拡大の契機とするため、グランドオペラ共同制作「トゥーランドット」や東京バレエ団「くるみ割り人形」などのオープニング事業を実施したが、一部の事業については新型コロナウイルスの影響で実施が延期となった。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの県外の高校・大学の合宿は中止、延期又は縮小となったが、その中で、ラグビートップリーグ参加のチームの合宿を誘致した。

（見直しの方向性）

- ・ 多様な事業の推進
 - ⇒ 新型コロナの収束を見据えながら、山形交響楽団の東京公演に対して支援し、本県の文化・観光の魅力を発信する取組みを進める。
 - ⇒ 総合文化芸術館について、本県の文化芸術活動の拠点として、一流の文化芸術の公演等を実施するとともに、新型コロナウイルスの影響により延期となった新国立劇場バレエ団「白鳥の湖」や「ストリートダンスの日」などのオープニング事業を実施していく。
- ・ 文化・スポーツ合宿の誘致拡大
 - ⇒ 合宿への支援の要件としている地域交流イベントの開催について、コロナ禍に対応してリモートでの開催や合宿後の交流も認め、スポーツを通じた地域交流を促進していく。

＜海外との相互交流の促進＞

（評価）

- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンによる交流事業について、新型コロナウイルス感染症の影響によりフィジカルな交流活動の実施は困難であったものの、ビデオレターの交換やリモート通信での交流などを実施した。

（見直しの方向性）

- ⇒ 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンによる交流を促進していく。

【令和2年度関連事務事業】

(単位:千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
山形県総合文化芸術館整備事業費	617,275 (620,389)	<ul style="list-style-type: none"> 山形県総合文化芸術館(雁木等)を整備 2,001席の収容力と広い舞台を活かし、多様な文化芸術に触れる機会を提供 【主な公演実績】 <ul style="list-style-type: none"> 山形交響楽団「やまぎん県民ホール×山響 ベートヴェン交響曲スペシャル」(7/7, 25, 9/28) やまがた芸術の森音楽祭(10/10, 11) 共同制作オペラ「トゥーランドット」(10/31) 東京バレエ団「くるみ割り人形」(12/19) 	8
文化団体等連携支援事業費(再掲)	100,845 (102,617)	<ul style="list-style-type: none"> 美術館等が実施する企画展や山形交響楽団の活動への支援 (美術館等の企画展等29事業への支援、山響の主催公演21事業等への支援を実施) 	8
東京オリンピック・パラリンピック地域活性化事業費	458,369 (478,838)	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック聖火リレーの準備 東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの準備 東京2020 NIPPON フェスティバルへの参画準備等 	8
プロスポーツ支援事業費	129,106 (130,486)	<ul style="list-style-type: none"> 県内のプロスポーツチームへの支援(3チーム) プロスポーツを活用した地域の賑わいづくり活動への支援等(県内小中学校とプロスポーツチームとのふれあい交流6回) 	8
スポーツ・文化支援緊急対策事業費	6,537 (6,537)	<ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディング型ふるさと納税を活用したプロスポーツ選手の競技力向上や、文化施設の誘客促進のための取組みへの支援(プロスポーツ3チーム、文化施設57施設) スポーツコミッションが実施するスポーツによる地域活性化・交流イベントの開催等の支援(パブリックビューイング2回、オンラインラグビー教室1回) 	8
計	1,312,132 (1,338,867)		

3 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

(3) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】



取組みの成果

⑤ 国際ネットワークの形成促進

		外国人旅行者受入数（再掲）				
K P I		基準値（平成30年度）：252,289人				
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—※	390,000人	450,000人	520,000人	600,000人
	実績値	125,430人 （速報値）				
	進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）				

※新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る入国制限が行われており、令和2年度の動向について見通すことが困難であったため。

【令和2年度における評価と見直しの方向性】

<三大都市圏や近隣県の国際空港との連携>

（評価）

- ・ 隣接県と連携し仙台国際空港を活用したOTA（オンライン・トラベル・エージェンツ：インターネット上で取引を行う旅行会社）向けの情報提供を行ったが、渡航制限により旅行商品が造成されない状況にある。（再掲）
- ・ 外国人専用鉄道パスを活用した首都圏（成田・羽田空港）から本県への旅行商品造成のため、官民一体でメディア招聘や情報発信を行ってきたが、渡航制限により旅行商品が造成されていない状況にある。（再掲）

（見直しの方向性）

- ⇒ インバウンドの段階的な回復に向け、隣接県と連携し仙台国際空港や関係機関等から情報収集を行い、タイミングを逃さずにFIT層の山形への誘客を図る必要がある。（再掲）
- ⇒ 海外からの往来再開後を見据え、官民一体で外国人専用鉄道パスを活用した本県への安全・安心な旅の情報と新しい山形の過ごし方を提案し、首都圏（羽田・成田空港）から本県への直接的な誘客を図る必要がある。（再掲）

<酒田港の機能強化>

（評価）

- ・ 外航クルーズ船の運航再開に向けた国の動向を注視しつつ、オンラインを活用した誘致活動を実施した。（再掲）

（見直しの方向性）

- ⇒ 外航クルーズ船の運航再開に向けた国の動向を注視しつつ、引き続きオンラインを活用した誘致活動を継続する必要がある。（再掲）

【令和2年度関連事務事業】

(単位:千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
東北観光復興対策 プロモーション強 化事業費(再掲)	130,706 (159,063)	・Web商談会(令和3年3月開催)や、一般消費者向けにデジタルとリアルを組み合わせた複数メディアによる本県の情報の発信など、県内民間事業者と協働した海外有力市場を対象とした総合的誘客プロモーションの実施 ・外国人専用鉄道パスを活用した酒蔵ツーリズム商品の造成のため令和2年12月に一般消費者モニターを実施	11
東北観光復興対策 滞在強化事業費 (再掲)	36,548 (46,882)	・欧米豪等を対象に、出羽三山での山伏体験などの精神文化ツーリズムに係るメディア・インフルエンサーの招請を令和2年11月に実施 ・空港・駅等からのレンタカー・バス等の利用環境の改善による利便性向上や旅ナカでの情報提供機能の拡充に係るプラットフォームの更新	11
外航クルーズ船誘 客事業費(再掲)	1,083 (1,200)	・官民一体となった「“プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会」による外国船社とのオンライン商談会を令和2年10月に実施するとともに、クルーズ船誘致用デジタルコンテンツを作成し令和3年3月から公開	11
新潟・庄内DC誘 客推進事業費 (再掲)	7,416 (8,410)	・新潟県・庄内エリアポストDCの効果を県内全域に波及させるため、内陸と庄内を結ぶ二次交通整備に係る情報発信支援	11
計	175,753 (215,555)		

⑥国内広域交通ネットワークの充実強化

【令和2年度における評価と見直しの方向性】

<広域的な移動を支える二次交通の充実>

(評価)

- ・新潟県・庄内エリアポストDCによる誘客効果を内陸へ波及するため、内陸と庄内を結ぶ予約制観光バスの運行や情報発信の支援など、二次交通の充実を図った。(再掲)

(見直しの方向性)

- ⇒ 東北DCの開催にあたり、受入企画や誘客活動に対する支援と併せて、二次交通に対する支援を実施する。(再掲)

【令和2年度関連事務事業】

(単位:千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
新潟・庄内DC誘 客推進事業費(再 掲)	7,416 (8,410)	・新潟県・庄内エリアポストDCの効果を県内全域に波及させるため、内陸と庄内を結ぶ二次交通整備に係る情報発信支援	11
計	7,416 (8,410)		

(4)地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり【5-3】



取組みの成果

⑦自然環境や文化資産の保全・活用・継承

K P I	地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒の割合					
	基準値（令和元年度）：小6：85.7%、中3：65.9%					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	小6：— ※ 中3：— ※	小6：90% 中3：70%	小6：90% 中3：70%	小6：90% 中3：70%	小6：90% 中3：70%
	実績値	—※				
進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）					

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学校の休校などにより、令和2年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）が実施されなかったため。

【令和2年度における評価と見直しの方向性】

<文化資産の活用・継承>

(評価)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により地域の伝統文化を体験する機会や民俗芸能の発表の場が失われた。
- ・ 「未来に伝える山形の宝」登録制度へ地域の文化財を保存・活用する取組みについては、2件の新規登録を行うとともに、既登録団体への補助を行った。
- ・ 山形県民俗芸能懇話会を開催し、県内4地域のコロナ禍における民俗芸能団体の活動状況等について情報交換を行った。
- ・ 日本遺産の各協議会を中心に関係機関が連携し、情報発信や人材育成、普及啓発、公開活用の取組みを実施した。
- ・ 山形県文化財保護審議会のもとに山形県文化財保存活用大綱策定部会を設け、第1回会議を開催した。
- ・ 指定文化財の保存修復に対する支援を行った。

(見直しの方向性)

- ・ 伝統文化・民俗芸能の継承
 - ⇒ 引き続き地域の文化財を保存・活用する取組みを掘り起こし、「未来に伝える山形の宝」登録制度への新規登録を推進し、支援を行う。
 - ⇒ 地域の伝統文化や民俗芸能の継承につながるよう、新型コロナウイルスの感染拡大防止措置がとられた上での発表機会創出や、団体同士のゆるやかなネットワークの構築を進める。
- ・ 日本遺産
 - ⇒ コロナ禍により減少した地域の伝統文化の体験機会を回復するとともに、引き続き協議会を中心に関係機関と連携し、次代の継承に繋がる取組みを進める。
 - ⇒ 県指定文化財について、客観的判断と適切な周期での修繕を実施する必要がある。
 - ⇒ 広く県民に対し、埋蔵文化財の普及啓発を実施する必要がある。

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
文化財保存活用大綱策定事業費	522 (791)	・山形県文化財保護審議会山形県文化財保存活用大綱策定部会の開催(令和3年3月30日)	4
「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業費	6,013 (7,310)	・「未来に伝える山形の宝」への新規登録2件(合計31件) ・有形・無形の様々な文化財を地域で守り活かす取り組みへの補助(5件) ・登録団体の取り組みを紹介するパネル展(2/12～2/12)を県庁ロビーにて開催	4
日本遺産魅力発信推進事業費	1,797 (2,133)	・新型コロナウイルス感染症の影響により一部実施見送りとなった事業があったが、「出羽三山『生まれかわりの旅』」、「山寺が支えた紅花文化」の各推進協議会において感染防止対策を行いながら、人材交流・人材育成事業や受入環境整備事業等を実施 (実施した主な事業) ・出羽三山地域の生業を紹介する動画作成・山寺における外国人案内機能の強化・ガイドマニュアルの作成	4
文化財保護事業費	35,848 (42,093)	・国指定文化財の保存修理等(国宝羽黒山五重塔防災施設整備事業など19件)への支援等の実施	4
伝統芸能育成事業費	665 (698)	・民俗芸能団体が上演を予定していた「日本一のさくらんぼ祭り」及び「北海道・東北ブロック民俗芸能大会(青森県)」が新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・山形県民俗芸能懇話会を令和3年3月に開催し、コロナ禍における伝承活動について情報交換を実施	4
計	44,845 (53,025)		

(5) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】



取組みの成果

⑧ 県を越えた交流連携の推進

【令和2年度における評価と見直しの方向性】

＜多様な分野における近隣県等との交流連携の推進＞

(評価)

- ・隣接県と連携し仙台国際空港を活用したOTA(オンライン・トラベル・エージェント:インターネット上だけで取引を行う旅行会社)向けの情報提供を行ったが、渡航制限により旅行商品が造成されない状況にある。(再掲)

<p>(見直しの方向性)</p> <p>⇒ インバウンドの段階的な回復に向け、隣接県と連携し仙台国際空港や関係機関等から情報収集を行い、タイミングを逃さずにFIT層の山形への誘客を図る必要がある。(再掲)</p> <p><目的指向型の国際交流・連携の推進></p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京 2020 オリンピック・パラリンピックのホストタウンによる交流事業について、新型コロナウイルス感染症の影響によりフィジカルな交流活動の実施は困難であったものの、ビデオレターの交換やリモート通信での交流などを実施。(再掲) <p>(見直しの方向性)</p> <p>⇒ 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、東京 2020 オリンピック・パラリンピックのホストタウンによる交流を促進していく。(再掲)</p>
--

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
観光情報番組放映 事業費(再掲)	31,014 (31,102)	・首都圏からの観光誘客を図るための観光情報番組の制作及び放映	11
広域連携推進事業 費(再掲)	19,390 (19,390)	・東北観光推進機構等と連携した海外現地旅行会社・メディア等向けWebセミナーの開催や、在日外国人インフルエンサー等招聘、商談会、オンライン旅行博の出展など、海外誘客事業の実施	11
東北観光復興対策 プロモーション強 化事業費(再掲)	130,706 (159,063)	・Web商談会(令和3年3月開催)や、一般消費者向けにデジタルとリアルを組み合わせた複数メディアによる本県の情報の発信など、県内民間事業者と協働した海外有力市場を対象とした総合的誘客プロモーションの実施 ・外国人専用鉄道パスを活用した酒蔵ツーリズム商品の造成のため令和2年12月に一般消費者モニターを実施	11
東北観光復興対策 滞在強化事業費 (再掲)	36,548 (46,882)	・欧米豪等を対象に、出羽三山での山伏体験などの精神文化ツーリズムに係るメディア・インフルエンサー招請を令和2年11月に実施 ・空港・駅等からのレンタカー・バス等の利用環境の改善による利便性向上や旅ナカでの情報提供機能の拡充に係るプラットフォーム更新	11
東京オリンピッ ク・パラリンピッ ク地域活性化事業 費(再掲)	458,369 (478,838)	・東京2020オリンピック聖火リレーの準備 ・東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの準備 ・東京2020NIPPONフェスティバルへの参画準備等	11
計	676,027 (735,275)		